

# 広島交響楽団

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA  
～平和と希望への祈り～

## 第18回 廿日市定期演奏会

～永遠の未完成～  
テーマに込められた作曲家の想い

指揮：広上 淳一  
Conductor : Junichi Hirokami

### Program

シューベルト  
交響曲第7番ロ短調 D.759「未完成」  
グリーグ  
ピアノ協奏曲イ短調 Op.16  
ブラームス  
ハイドンの主題による変奏曲 Op.56a

ピアノ：佐藤 麻理

Piano : Mari Sato

©F.Fujimoto

## ＊はるかち文化ホール さくらびあ大ホール

2015年4月26日 [日] 15:00開演 (14:30開場)

入場料 全席指定 (税込) S席3,700円/A席3,200円/B席2,700円/学生席1,500円 (B席のみ)

\*未就学児の入場はご遠慮ください。\*学生席はさくらびあ事務室、広響事務局のみの取り扱いで、割引はありません。

チケット発売日 | さくらびあ倶楽部会員 / 2月1日 [日]、一般 / 2月8日 [日]

さくらびあ倶楽部会員 / 500円引 広響会員 / 1割引 (さくらびあ事務室、広響事務局のみ。当日の割引はなし)

\*2014年4月1日以降入会の方は購入額の5%のポイントが貯まります。割引はありません。

ちゅーピーくらぶ / 1割引 (中国新聞社読者広報部、さくらびあ事務室、広響事務局のみ。当日の割引はなし)

プレイガイド | エディオン広島本店、フジグランナタリー、さくらびあ事務室、ローソンチケット (Lコード66118)、チケットぴあ (Pコード249-928)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所 (取り寄せ)、広響事務局

■主催：公益財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 ■特別協賛：中国電力 ■後援：廿日市市、廿日市市教育委員会  
お問い合わせ / さくらびあ事務室 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

[アクセス] 広電宮島線[廿日市市役所前]駅から徒歩7分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

# 広島交響楽団

## 第18回 廿日市定期演奏会

～永遠の未完成～ テーマに込められた作曲家の想い

珠玉のテーマで高みに登りつめたシューベルト。

冒頭から直情を投げかけたグリーグ。先達の素材に自らを研ぎすませたブラームス。

充実の広上とブラームス国際コンクール優勝の佐藤による、永遠を求めた作曲家達の物語です。

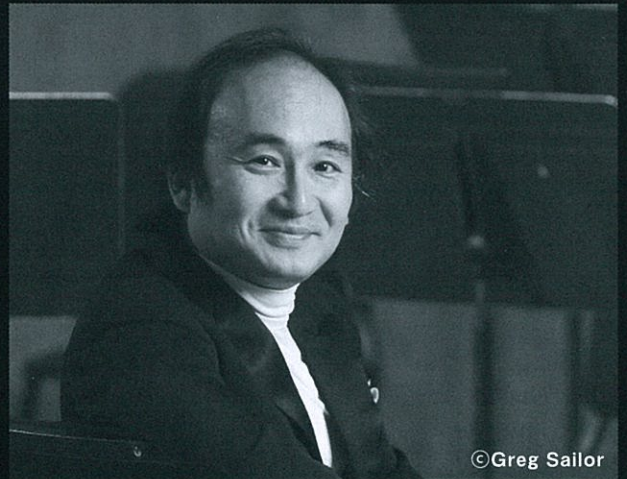
### 指揮 広上 淳一 Junichi Hirokami

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝し、国際的な活動を開始。フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。91～95年ノールショピング響首席指揮者、98～2000年リンブルク響首席指揮者、97～2001年 ロイヤル・リヴァプール・フィル首席客演指揮者、91～2000年日本フィル正指揮者を歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、ボルティモア響、シンシナティ響、スタヴァンゲル響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィル、サン・パウロ響等へ客演。06～08年には米国コロンバス響音楽監督を務め数々の名演を残した。

国内では全国各地のオーケストラはもとより、07年夏にはサイトウ・キネン・オーケストラ、また、08年には水戸室内管弦楽団を指揮し、聴衆および批評家からともに絶賛された。

オペラ指揮でもシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、近年では藤原歌劇団《椿姫》、日生劇場《フィガロの結婚》、新国立劇場《椿姫》、《アイダ》等が記憶に新しい。

現在、京都市交響楽団常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー。東京音楽大学指揮科教授。



©Greg Sailor



©F.Fujimoto

### ピアノ 佐藤麻理 Mari Sato

神奈川県横浜市出身。

2006年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を卒業後、東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻を経て2007年秋よりウィーン国立音楽大学ピアノ室内楽科にて研鑽を積む。現在ウィーン国立音楽大学院修士課程（マギスターディプロム課程）に在籍中。2013年度・2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。岡田敦子、Avo Kouyoumdjan各氏に師事。

2012年第19回ブラームス国際音楽コンクール（オーストリア）ピアノ部門第1位、2014年第8回Verfemtemusik国際音楽コンクール（ドイツ）ピアノとヴァイオリンのデュオで総合第1位。

ウィーン国立音大室内楽プロジェクトピアニストとしてウィーン楽友協会、コンツェルトハウス等での演奏会に出演。新進気鋭の現代曲アンサンブルEnsemble Platypusの助演、ドイツVerfemtemusik国際音楽祭のオープニングでブルーノ・ワルター「ピアノとヴァイオリンのためのソナタ」を演奏し好評を博すなど、ソロ・室内楽においてヨーロッパでも幅広く活動の場を広げている。

これまでに神奈川県フィルハーモニー管弦楽団、東京ニューシティー管弦楽団、中部フィルハーモニー交響楽団と共演。秋山和慶氏指揮のもとブラームスピアノ協奏曲第1番・第2番を共演。

現在ウィーンを拠点に国内外で活動中。

### 広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国唯一の常設プロオーケストラ（広響）は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。日本各地はもとより、ウィーン、ブラハ、ルーアン、ル・アーブル、サンクトペテルブルク、ソウル、プサン、テグなどで公演し好評を博す。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、移動音楽教室、「マイタウンオーケストラ広響」、「音楽の花束」名曲シリーズを開催。他に、文化庁からの指定を受け全国各地を巡回する学校公演や、各種依頼公演、小編成によるアンサンブルを含むと年間約140回に及ぶ公演を行っている。2001年度から文化庁の助成を受け、我が国の芸術水準向上と地域の文化を牽引する芸術団体として、今後一層の活躍が期待される。2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、各種ワークショップ、講義、楽器教室やセミナーのほか、全国から注目を集める「P3 HIROSHIMA」として広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

